

外国人客員准教授紹介

Bangladeshでの安定生産を可能にするイネ新品種の開発を夢見て

シェリー・イシュラット・ジャハン
 Bangladesh農業大学准教授 (Bangladesh)
 外国人客員准教授 (プロジェクト開発研究領域)
 (任期: 2016年2月1日から2016年3月30日)



農学国際教育協力研究センター客員准教授として再び赴任でき、とても嬉しく、また光栄に思います。Bangladeshの主食であるイネの生産量は時代とともに大きく改善してきましたが、乾燥や塩害、洪水、高温や低温障害、サイクロンによる被害等により、反収は未だ低い水準に留まっています。これまでに私たちは“Climate resilient cropping pattern”など、これらの障害を克服するための栽培技術の確立を試みてきました。近年は、乾燥や高温ストレスに対するイネの耐性品種育成を目指して研究に励んでいます。この2ヶ月の滞在期間中に、私はそれを実行するための知識や技術をできるだけ多く身につけられるよう懸命に努力しました。ストレス耐性を有する新品種の開発は、Bangladeshの農家に利益をもたらし、また食糧の安全保障に大きく貢献します。こういった国を豊かにしようとする一個人の試みや努力の積み重ねが、最終的にはBangladesh稲育種開発センターの設立といった大きな実を結ぶ結果に繋がると信じています。私は生涯にわたり日本の研究者との協力関係を築き、この大きな夢の実現に貢献できることを切に願っています。滞在中の皆様からのご指導、ならびに温かいサポートに心より感謝申し上げます。

略歴 1975年Bangladesh生まれ。2001年Bangladesh農業大学卒業、2003年同大学大学院修士課程修了、2013年名古屋大学大学院生命農学研究科博士課程(後期課程)修了および博士(農学)取得。2002年Bangladesh農業大学農学部非常勤講師、2004年同大学農学部講師、2006年同大学農学部助教、2013年同大学農学部准教授、2014年4月~2014年9月名古屋大学農学国際教育協力研究センター外国人客員准教授を経て現在に至る。

海外ゲストの講演紹介

マリー=クリスティーン・ヴァン・ラベケ (Gent大学生物工学部植物生産学科教授)

1月14日(木)に、『環境ストレスに対する資源植物の適応』をテーマとして2015年度第3回オープンセミナーを開催し、ベルギー王国より招いたヴァン・ラベケ教授にご講演いただきました。「非生物ストレス耐性の選抜に向けた園芸作物の生理的反応」と題したお話しの中で、乾燥による有効水の低下、低温による細胞の脱水、塩害による浸透圧ストレスやイオン毒性など様々な非生物的ストレスに対する抵抗性の成立要因について解説いただき、また、ストレスの回避性や耐性の差異を検出するための生理的、生化学的解析手法について、果菜や花卉を用いた研究の実例をあげてご紹介いただきました。(江原 宏)

ルイス・イコチア・サラス (ラ・モリーナ農業大学水産学部教授)

4月18日(月)に、ペルー共和国よりイコチア・サラス教授を招き、2016年度第1回オープンセミナーとして講演会を開催しました。「エルニーニョ・南方振動と農水産業への影響」と題した講演の中で、エルニーニョがどのように発生し、海洋および大気の状態に影響を及ぼすのか、それによる海洋生物の分布の変化や作物の生産と関連産業への影響について解説いただき、経済活動の損失や自然災害を軽減するために、信頼性の高いエルニーニョ予測に向けた課題と方策について情報を共有させていただきました。(江原 宏)

オープンセミナー (2015年12月~2016年5月)

回数	日時	テーマ	講師	所属
2015年度 第2回	2015年 12月15日	アフリカ開発の阻害要因と日本の役割	二木 光	元JICA国際協力専門員
第3回	2016年 1月14日	非生物ストレス耐性の選抜に向けた園芸作物の生理的反応	マリー=クリスティーン・ヴァン・ラベケ	ベルギー・Gent大学生物工学部植物生産学科 教授
		塩ストレス、アルミニウムストレスに対するサゴヤシの生育および生理反応	江原 宏	ICCAE協カネットワーク開発研究領域 教授
第4回	2016年 3月22日	インドネシア南東スラウェシにおける陸稲品種の多様性と農業形質	ユリウス B. パソロン	インドネシア・ハルオレオ大学国際交流所長/農学部 准教授
		Bangladeshにおける稲作の現状・課題と将来展望	イシュラット J. シェリー	Bangladesh農業大学准教授/ICCAE 客員准教授
2016年度 第1回	2016年 4月18日	エルニーニョ・南方振動と農水産業への影響	ルイス・イコチア・サラス	ペルー・国立ラ・モリーナ農業大学水産学部 教授